

資料編

- 1 厚岸町総合計画策定審議会からの答申
- 2 厚岸町総合計画策定審議会委員名簿
- 3 基本構想の見直しと後期行動計画策定の経過（概要）
- 4 町民参加

1 厚岸町総合計画策定審議会からの答申

平成26年11月27日

厚岸町長 若 狹 靖 様

厚岸町総合計画策定審議会
会長 大 野 繁 嗣

第5期厚岸町総合計画について（答申）

平成26年11月4日付け厚ま企第79号をもって、当審議会に諮問のありました第5期厚岸町総合計画の「基本構想」変更と「後期行動計画」策定に係る原案について慎重に審議した結果、次のとおり意見を付して答申します。

記

1 総論に関すること

- ① 計画策定の背景において、政府は地方創生を推し進めようとしている。こうした地方重視の国の動きに的確に対応するよう努められたい。

2 行動計画に関すること

(1) 総体的な意見

- ① まちづくりの指標において、目標を高くもつことは決して悪くはないが、現状を勘案したうえで、現実的な予測とかけ離れた目標値とならないよう留意されたい。

(2) 第1章 自然との調和を大切にした快適で安全なまちづくり

- ① 第8節 道路・公共交通において、公共交通手段のない農村部では、高齢化の進行により移動手段の確保がますます重要な課題になると考えられる。既存の患者輸送バスやスクールバスの活用は、時間や乗車人員などに制限があるため、乗車希望に柔軟に対応できる巡回バスなどの運行を検討されたい。

(3) 第2章 にぎわいに満ちた活力と魅力あるまちづくり

- ① 商工業において、厚岸町の商工業振興のため、できるだけ町内・域内の内需を促進して循環させることが重要であることを念頭に、今後も施策の展開に努められたい。
- ② 商工業において、人口減少対策や雇用を推進するためには中小企業の振興が重要であることから、行政としても中小企業が行う取組への支援に努められたい。
- ③ 商工業において、中心市街地の空き店舗の増加が進んでいる中、町民が活用できる試験的な販売施設などとしての空き店舗活用の検討に努められたい。
- ④ 観光において、宿泊施設の不足は大きな課題であり、スポーツの大会誘致など他の分野にも影響が及ぶことから、何らかの方策の検討に努められたい。
- ⑤ 雇用において、厚岸町の基幹産業は第一次産業であり、これに従事する高齢者は相当数おり、各産業において高齢化や担い手不足の課題もあることから、雇用をはじめとした産業に関わる各種施策を講じる際の参考として、産業別・年代別の就業者数の推移を示されたい。

(4) 第4章 個性と感性がきらめくまちづくり

- ① 学校教育において、少子化が進む現状下、町内唯一の高等学校である厚岸翔洋高等学校を将来も存続させるため、町から高校への支援のみならず、町・高等学校、双方での積極的な取組に努められたい。

(5) 第4章 みんなでつくる協働のまちづくり

- ① 財政運営のまちづくりの指標において、設定する指標によっては現状から目標値に向かって増減の違いがあり、どちらに向かうことが良いのか理解しづらいため、誰もが理解できる説明などを追記すべきである。

2 厚岸町総合計画策定審議会委員名簿

役 職	公職・所属団体等	氏 名
会 長	厚岸町社会福祉協議会 会長	大 野 繁 嗣
副 会 長	厚岸町商工会 会長	宮 原 文 憲
委 員	厚岸町教育委員会 委員長	田 辺 正 保
委 員	厚岸町農業委員会 会長	荒 岡 正
委 員	厚岸漁業協同組合 専務理事	佐 藤 友 三
委 員	厚岸漁業協同組合 女性部長	桂 川 和 子
委 員	釧路太田農業協同組合 参事	佐 藤 嘉 一
委 員	釧路太田農業協同組合 女性部長	菅 原 京 子
委 員	厚岸町商工会 女性部長	三 村 眞理子
委 員	厚岸町森林組合 参事	安 部 直 人
委 員	厚岸観光協会 会長	北 村 誠
委 員	厚岸建設業協会 会長	窪 田 健 一
委 員	厚岸町消費者協会 会長	小野寺 浩 江
委 員	厚岸町女性団体連絡協議会 会長	柿 崎 多佳子
委 員	北海道中小企業家同友会釧路支部厚岸地区会 会長	成 澤 光 則
委 員	厚岸の家づくり協議会 会長	千 葉 慎一郎
委 員	厚岸を考える会「うるする」 会員	佐々木 修 治
委 員	厚岸町自治会連合会 理事	中 田 由美子
委 員	北海道厚岸翔洋高等学校 校長	芹 澤 良 通
委 員	公募	安 藤 紀 子

3 基本構想の見直しと後期行動計画策定の経過（概要）

年 月 日	内 容
平成25年	
11月14日	前期行動計画の評価、後期行動計画素案シート作成を指示
平成26年	
1月20日～2月3日	町民満足度調査の実施
6月6日	第1回厚岸町総合計画策委員会
7月2日	後期行動計画（事務局素案）の確定
7月26日～8月29日	後期行動計画（事務局素案）による理事者ヒアリング
9月1日	町民満足度調査結果概要の公表（広報誌9月号）
9月16日	総合計画（素案）の確定
9月24日～10月15日	厚岸町総合計画策定委員会による事務局素案の協議・検討（第2回～第8回）
10月～11月	各種団体との懇談
10月21日	総合計画（原案）の確定
10月22日	総合計画（原案）を町議会議員各位へ配布
10月29日	議員協議会において説明（経過・予定）
10月30日～11月17日	総合計画（原案）を公表し町民から意見聴取
11月4日～11月14日	厚岸町総合計画策定審議会において審議（5回）
11月27日	厚岸町総合計画策定審議会から町長に答申
11月28日	第5期厚岸町総合計画基本構想変更案・後期行動計画案を確定
12月10日	厚岸町議会第4回定例会に提出
平成27年	
1月14日・15日	厚岸町議会第5期厚岸町総合計画審査特別委員会において審議
1月26日	厚岸町議会第1回臨時会において議決

4 町民参加

1 町民満足度意識調査

町民の生活に関する満足度や今後の重要度、今後の居住意向などについてアンケートを行い、総合計画に町民の意見や意向を反映させるために実施。

調査時期	平成26年1月20日 ～ 2月3日
調査対象	町内に在住する15歳以上の町民2,000人
調査方法	郵送による配布・回収
回答率	41.05%（回答数 821票）

2 各種団体との懇談会

各施策の分野ごとに関連する各種団体と町の各担当課との懇談会を行い、総合計画に反映させるために実施。

実施時期	平成26年10月29日 ～ 平成26年11月14日
対象団体	町内で活動する各種団体、企業の組合組織、官公庁など
実施方法	各分野ごとの各種団体と、関連する町の担当課職員との懇談
実施団体数	56団体（懇談会実施回数：25回）

3 計画原案の公表と意見募集

総合計画を原案の段階で公表して町民の意見を広く募集し、総合計画に反映させるために実施。

実施時期	平成26年11月1日 ～ 11月17日
公表方法	・町ホームページによる公表 ・役場庁舎、各地区集会所、漁業協同組合、農業協同組合、高等学校など、町内各地区の公共施設など36施設に設置して公表
意見数	48件（意見提出者：1人）

第5期厚岸町総合計画

平成22年3月
(平成27年1月改定)

厚岸町まちづくり推進課企画調整係
〒088-1192 厚岸町真栄3丁目1番地
TEL : 0153-52-3131 FAX : 0153-52-3138



第5期 厚岸町総合計画

共生・躍動・協働

暮らしに豊かさ実感できるまち